



右馬允だより

庭のサンシュウの蒼白いよよ膨らんで今日か明日には咲きはじめのようです。枯れ草の中で福寿草、クロッカス、水仙の黄色のうしろすす室内に入れた桃の花が咲き、路地の梅が程良く咲いて雪の赤石岳を背景に長閑な春浅き山里ならではの景色となっています。

2月、3月は東京へ行ってマカが勉強をするのだと強い意志をこめて励む久美から便りが届き、残り少なくなった研修の時とヒリヒリと極力少日く日々のレッスンを励むという熱い気持ちが続いてきてうれしく思っています。この冬は先生のアシスタントをやらせていたマカがエ級者のレッスンに多く携わったように大いに勉強になったようです。4月からの伊那谷での久美の教室が楽しみですね。池袋のハリ朝でお手伝いをさせていたマカと允と亮とこの22日に戻り右馬允での仕事も再開します。お客様にお出しするわがさき「猫」に勤しむ愛する男性軍です。

この冬家族の為に、己の為に東京で働いた息子たちの慰労会をしまして久美に長男允の家族が右馬允にやってきました。昨年の5月に産まれた光(功)も大きくなって人見知りをするようになり顔が強張って今にも泣きそうを感じてしばらくいました。そのうちに馴れて来てかわいらしい笑顔で笑ってくれるようになりキャッチャーと声をあわせて笑うようになりかわいい全開。おとうまおんまは五月人形そのものなふくらみ。どちらも人生で一番いい時です。時間よ止まれといくら念じても叶うまでなげ非情の上の現実と向い合う。全て受け入れ消化しつつ歩むのが人間に課せられた使命でしょう。生きたばかりの人、老いた人、若い人、全て一堂に会した場面ではついついこんなことを考えてしまいます。人間も70才になると思えばなってしまうが98才の反子母はいたって元気、元気の貴伝子と反子母は形成されているのでしょうか。羨ましい限りです。お母と違筆の母は王介に頼まれて神社の大例祭に向けての文書作成に日々追われています。母と息子いい感じの春先の共同作業が続いています。

穏やかな誕生でした。今年も励む時期が参りました。子どもたちの力を貸して、代子と違と手伝ってがんばる頑張りたいと思っております。